

内 容

学期	月	題 材 名	学 習 活 動
		オリエンテーション	◇技術・家庭の授業の目標、内容、評価、授業の約束などを知る。 ○見通しをもち積極的に取り組むことを目指します。 ・中学校での学習内容をイメージする。 自己評価カード
		◎家族・家庭と子どもの成長 ○わたしの成長 ○わたしを支えてくれた家族や周囲の人々 ○家庭のはたらき ○家庭生活を支える仕事 ○わたしたちの家庭生活と仕事	○自分の成長を振り返る。 ・幼いころからこれからは振り返る。 ・支えてくれた人々を思い出す。 ○家庭での活動を考え、家庭にはさまざまなはたらきがあることを理解する。 自己評価カード
		◎衣生活と住生活と自立 ○衣服のはたらき ○自分らしく目的に合わせた着方 ○衣服の活用と選び方 ○汚れと手入れ ○手入れと表示 ○衣服の補修 ○和服に触れる ○環境に配慮した生活 ○住まいの役割 ○共に住まう ○住まいの安全対策 ○災害への備え ○室内の環境調節 ○住まいと音 ○生活を豊かにする物をつくる	○衣服の社会生活上のはたらきを知る。 ○自分らしい着方を考える。 ○既製服を選ぶポイントやサイズ、取り扱い絵表示の見方理解し、衣服の適切な選択を ○衣服の汚れやしみの種類と性質を理解して、手入れや保の仕方を知る。 ○衣服のいたみ具合に合わせた方法で補修ができる。 ○ほころび直しの補修の実習をする。 ○和装と洋装の違いを知り、和服を着てみる。 ○環境に配慮した衣生活について関心をもつ。 ○住まいの基本的なはたらきを理解し、住まいに必要な空とその役割がわかる。 ○家族によって住まい方が違うのがわかる。 ○家庭内事故の種類とその原因がわかる。 ○安全な住まい方を考えたり、非常時の備えとして必要なをあげられる。 ○室内の空気が汚れる原因を知り、健康に配慮した住まいを考え、工夫することができる。 ○生活騒音の問題点を理解し、適切な防音対策を工夫することができる。 自己評価 ○自分や家族の生活を豊かにする物を考える。 カード
		◎家庭生活と消費 ○生活に必要な物の流れ ・販売方法と支払い方法 ○消費者トラブルを防ごう ○消費者の権利と責任 ○環境について考える	○消費生活がどのように成り立っているかを理解する。 ○「悪徳商法」について学習し、通信販売や電話による勧誘などの疑似体験や失敗例から購入の心構えを学習する ・「クーリング・オフ」の手続きのしかたについて学習する ・自己評価カード ・資源としてのゴミについて気づかせ、分別回収の必要性を学ぶ。物の豊かさと住空間のゆとりについて気づく。

評 価

家庭分野 <評価の観点>

- ① 生活や技術への関心・意欲・態度
 - ・授業の取り組みを良くする。(聞く姿勢、話す姿勢、調べる姿勢、作業に集中して取り組む姿勢。)
 - ・制作に必要な用具、物を準備して、作業に進んで参加する。
 - ・授業中の記録がわかりやすくまとめることができる。
- ② 生活を創意工夫する能力
 - ・作品制作において自分なりに創意工夫して表現する。
 - ・整理整頓に心がけ、作業のしやすい状態に整える。
 - ・生活環境への適切な気配りができるようにする。
- ③ 生活の技能
 - ・衣食住など家庭生活に関する生活をよりよくしようとする改善、努力する態度がある。
 - ・裁縫道具、ミシンなど縫製に関する用具の便利さと安全性に気をつけて使うことができる。
 - ・手際よく作業を進めることができる。
 - ・作品制作の計画を立てることができ、計画に基づいて進めることができる。
- ④ 生活や技能についての知識・理解
 - ・衣食住など家庭生活に関する生活をよりよくしようとする意識が高く、知識が身についている。
 - ・自分の作品について、自己評価を行い、今後の学習の参考に生かすことができる。



<評価の方法>

・毎時間の授業への取組(発表や活動内容・聞く・話す・調べる、実践する)、作品の工夫・努力仕上がり具合、作業記録表、ノート・プリントなどの学習活動、整理整頓、用具機械の安全な使用などの自己評価、他己評価、定期テストなどを基にして総合的に評価する。

授業中

- ① 授業の準備をする。(道具や材料の忘れ物をしないなど授業の約束を守る)
- ② 目的と意欲をもって授業に臨む。学ぶべきところを学ぶ、高め磨く。
- ③ 創意工夫して作品を制作する。

復習

取り組んだ作品、制作物が期限内に完成できるように、「何を」「どうしたらよいか」など、自己評価しながら取り組む。(遅れてる場合、自分でできることを行う。)
*自分以外の作品から学び、次の学習に生かす。



※安全で、気持ちのよい授業ができるように、授業の約束は守る。

